

今年の六月一日から、自転車運転者講習制度の導入などを内容とする改正道路交通法が施行され、自転車を取りまく環境が大きく変わることとなりました。

信号無視や酒酔い運転、踏切遮断機への立ち入りなどの危険な運転を繰り返して、三年以内に二回摘発を受けた自転車運転者は講習会の受講が義務となります。摘発された人は各都道府県の公安委員会から受講が命じられます。三時間の有料講習で、受けなかった場合は五万円以下の罰金が科せられます。危険運転として挙げられているのは、信号無視、酒酔い運転、一時停止の無視、遮断踏み切りへの立ち入り、歩行者への通行妨害、その他計十四項目あります。その内、うっかりして違反し易いと思われるのが「歩道通行や車道の右側通行等」と「安全運転義務違反」で日常よく見られる光景です。

この改正道路交通法の背景には、自転車に関係する交通事故件数が十万件を越し、交通事故全体の約二割を占め、自転車による死亡事故の八割が自転車側に非がある状態から厳しい取り締まりとなつています。小生も車を運転していた時や歩行の際にも信号を無視して走行してくる自転車と遭遇して何度か肝を冷やした事がありましたし、現に小生の兄も自宅近くで自転車走行中に自転車に追突され転倒し足を骨折する重傷を負ったことがあり自転車事故の怖さを痛感しています。

自転車は手軽な乗り物だけに、場合によっては自分が加害者になるということをお忘れがちになります。歩いているのと同じ感覚で、ちよつとしたルール違反は大目に見てもらええると勘違いをしている人がまだ多いようです。最近では自転車に乗せる場合には子どもにヘルメットを被せる人が増えています。

自転車走行のルール

深友会（深沢中学校同窓会）会長（第八回生） 嶋村勝美

深沢中学校
同窓会報

深友会だより

第18号

鎌倉市立
深沢中学校
深友会事務局

〒247-0063
鎌倉市梶原1-14-1
☎0467-44-1222

が、こうした安全対策の意識と実践が高まってほしいと思います。自転車専用路が少ないといった自転車道を安全に活用するためのインフラ整備が遅れている点は課題としてありますが、せっかくの身近な乗り物だから皆で安心して使えるように法令を遵守することが必要です。自転車は日常生活において便利で使い勝手の良い欠かせないツールであります。手軽だからこそ最低限のルール遵守が求められています。

鎌倉歴史散歩のお知らせ

（27年度）

○日時・集合場所

平成27年11月28日（土） 午前10時 鎌倉駅東口（八幡口）

○コース概略

鎌倉駅＝（バス）＝鎌倉宮―永福寺跡―護良親王墓―杉本寺―報国寺―旧華頂宮邸―鎌倉逗子ハイランド…昼食…名越切通し―妙法寺―常栄寺―妙本寺―鎌倉駅

※昼食・飲み物は、各自ご用意下さい。

◎問い合わせ 嶋村 090-6931-7328



次は「建長寺」へ。鎌倉五山第一位、巨福山建長興国禅寺。まず、総門に圧倒される。境内には見学する場所多数（時間が足りない）。協道を進み、天園ハイキングコースへ。ここから体力測定。階段を数えながら登ったが、わからなくなった（衰えた！）。コースの途中で昼食。冷たいお茶がおいしかった。「十五岩」「百八やぐら」を経て「覚園寺」へ。鎌倉らしいお寺（心が洗われる）。

最後に「鎌倉宮（大塔宮）」へ。ここで散会だが、体力の残っている人は「荏柄天神」へ。

いつもながら「目から鱗」の歴史散歩でした。

（皆さんも、青春時代の思い出を辿りに参加しませんか？）

鎌倉歴史散歩に参加して

十四回生 加藤 浩

晩秋の鎌倉、薄曇り、絶好のハイキング日和。平成二十六年十月二十二日（土）午前十一時 鎌倉駅東口。

鈴木先生を初め総勢十二名（毎年、少しずつ増えて嬉しい）

小町通りに入る。相変わらず多くの出入。左右の特色ある店を眺めながら進む。途中、左に折れて「竊木清方記念美術館」へ。表通りを外れると、驚くほど静か。これも鎌倉の良いところ。裏通りから「鶴岡八幡宮」へ。池のほとりを巡り「国宝館」へ。

森に抱かれ静寂の中に、しばし佇む。その後「御谷（おやつ）」へ。昔、深沢にも多くあった谷戸。ここが「古都保存法」の産みの親とは知らなかった。

次は「建長寺」へ。鎌倉五山第一位、巨福山建長興国禅寺。まず、総門に圧倒される。境内には見学する場所多数（時間が足りない）。協道を進み、天園ハイキングコースへ。ここから体力測定。階段を数えながら登ったが、わからなくなった（衰えた！）。コースの途中で昼食。冷たいお茶がおいしかった。「十五岩」「百八やぐら」を経て「覚園寺」へ。鎌倉らしいお寺（心が洗われる）。

最後に「鎌倉宮（大塔宮）」へ。ここで散会だが、体力の残っている人は「荏柄天神」へ。

いつもながら「目から鱗」の歴史散歩でした。

（皆さんも、青春時代の思い出を辿りに参加しませんか？）

夏の部活動

厳しい暑さにも負けず、今年度も夏の大会や深中祭に向けての活動が熱く展開されました。どの部活も全力を尽くし、各大会で健闘しました。また、深中祭の発表のために地道に取り組んでいる部もありました。これからも深沢中学校の活躍と発展を温かく見守っていただくよう、よろしくお願いいたします。今年度の生徒の活躍は以下の通りです。

各部活動の夏季大会の結果

陸上部	9月22日(火)	鎌倉市総合体育大会陸上競技の部
バスケット部(男子)	市内大会 3位 湘南大会 出場	
バスケット部(女子)	市内大会 3位 湘南大会 出場	
サッカー部	市内大会 出場	
軟式野球部	市内大会 2位 湘南大会 出場	
バレー部	市内大会 出場	
ソフトテニス部(男子)	個人戦 市内大会 3位 団体戦 市内大会 出場	湘南大会 出場
ソフトテニス部(女子)	個人戦 市内大会 出場 団体戦 市内大会 出場	
卓球部(男子)	個人戦 市内大会 出場 団体戦 市内大会 出場	
卓球部(女子)	個人戦 市内大会 出場 団体戦 市内大会 出場	湘南大会 ベスト16
剣道部(男子)	個人戦 市内大会 出場 団体戦 市内大会 5位	湘南大会 出場
剣道部(女子)	個人戦 市内大会 出場 団体戦 市内大会 4位	湘南大会 出場 県大会 出場
吹奏楽部	第16回神奈川県県南吹奏楽コンクール金賞	県大会 出場
合唱部	TBS こども音楽コンクール 横浜地区大会 優秀賞 NHK 全国学校音楽コンクール 神奈川県 予選 奨励賞	
科学部	鎌倉市中学校模型飛行機大会	ゴムカタバルト部門 優勝

2014年度 卒業生進路状況

私立高校	公立高等学校
アレセイア湘南	横 浜 翠 嵐
横 浜 隼 人	光 陵
日 本 大 学	保 土 ケ 谷
日 大 藤 沢	金 井
柏 木 学 園	柏 陽
平 塚 学 園	横 浜 緑 ケ 丘
法 政 女 子	横 須 賀
湘南工科大学附属	逗 子
中央大学附属横浜	逗 葉 倉
三 浦 学 苑	鎌 倉
山 手 学 院	七 里 ガ 浜
湘 南 学 院	大 船
旭 丘	深 沢
横 浜 清 風	湘 南
横 浜 創 学 館	藤 沢 西
鎌 倉 学 園	湘 南 台
向 上	茅 ケ 崎
鶴 沼	茅 ケ 崎 北 陵
桐 光 学 園	鶴 嶺
相模女子大学	茅 ケ 崎 西 浜
東 海 大 相 模	寒 川
鎌倉女子大学高等部	綾 瀬
サレジオ工専	横 浜 栄
國學院久我山	藤 沢 清 流
東 海 大 高 輪	
天理教校学園	平 塚 工 科
明 治 学 院	藤 沢 工 科
星槎学園高等部	二 俣 川 ・ 看 護
岩 谷 学 園	海洋科学・一般
ク ラ ー ク	横 浜 緑 園 総 合
町 田 調 理	藤 沢 総 合
聖坂養護学校	藤 沢 養 護
	横 浜 明 朋
	定 時 制 湘 南
	通 信 制 横 浜 修 悠 館
	そ の 他 東 京 工 大 附 属

卒業生 143名

職 留 学

転居先不明の返送が増えています。住所変更の際は二報下さい。ご寄稿ご通信、賛助金お振込の節は卒業年度と旧姓を明記下さるようお願い申し上げます。

今年も深友会主催の「鎌倉歴史散歩」を開催します。この会報の第二頁を参照の上、ご家族、ご友人とお誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。（参加費無料）

深友会からのお知らせとお願い

今年の夏は前半が猛暑、後半は天候不順により涼しい気候でした。ただ、台風による豪雨で水害が多発し、大きな被害が出ました。被災した皆様に心よりお見舞い申し上げます。「深友会だより」第十八号お届けします。

この会報は住所等が確認できた方々にお送りしています。お手元に届かない卒業生で送付を希望される方は事務局までお知らせ下さい。また同期生の名簿を新たに作成した時は事務局にお送り下さい。全員にこの会報を送らせて頂きます。

なお同封の振込用紙は会費ではなく、寄付を強要するものでもありません。卒業生の連帯をはかる同窓会の活動にご賛同頂ける方に賛助金としてご協力をお願いするものです。ご理解下さい。

「一九二〇年の深沢中学校の教育」

鎌倉市立深沢中学校 校長 池田 吉伸

深沢中学校は、昭和二十二年（一九四七年）の五月二十二日に新学区制により深沢村立深沢中学校として深沢小学校に併設され開校してから、今年で六十九年目になります。

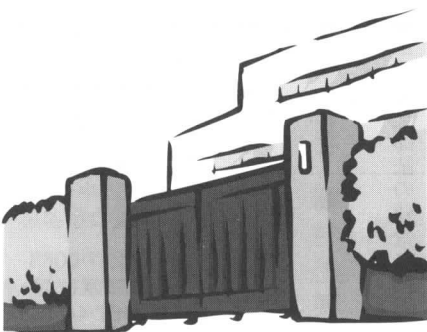
この間、教育はいろいろな変化が行われ、特にこの二十年の中でも平成十年に公示された学習指導要領が、平成十四年から完全実施されました。本校では、市内でもいち早く学校週五日制など、その趣旨を取り入れた取り組みを行ってきました。平成十四年から

は、鎌倉市教育委員会の「特色ある学校づくり」のモデル校として、「学校が地域の拠点となった夢教育の展開心のふれあい拠点校を目指した」を推進しました。平成十五年からは鎌倉市教育委員会教育課題指定研究校として「教育課程の実施に伴う指導上の諸課題」というテーマで三年間の研究成果を発表しました。現行の指導要領が平成二十年に公示され現在に至っています。学習指導要領改訂とともに、技術・家庭科の男女共修、選択教科の導入、廃止、総合的な学習の導入、学習形態としてもALTの導入、TTの導入、少人数学級、ICTの活用を生かした教育、言語活動の充実等変化して

います。

平成二十四年からは鎌倉市教育委員会教育課題指定研究校として「生徒の関心・意欲・態度の醸成を目指した授業づくり（学力の三要素）とそのみと（評価）の具体的取組み」というテーマで三年間の研究成果を発表しました。

どんな時代でも、『生徒が「深沢中学校で学んでよかった」と思う学校』『保護者、地域が「深沢中学校の学区でよかった」と思う学校』『教職員が「深沢中学校の職員でよかった」と思う学校』であることが大切であると思います、日々努力をしています。



同期会だより

*第八回生

五月末に二年ぶりに同窓会を行いました。

卒業したのが、昭和三十一年（一九五六）です。それから半世紀以上過ぎ、担任の先生も亡くなられ、仲間も何人かは他界されて、参集する人も十一人と少なくなりました。

今年は七十五歳の後期高齢者の仲間入りになります。

出席した人・参加できない人それぞれ、膝が痛くて道中不安なのでいけないとか、体調がわるいとか・ころんで手首を骨折したとか・肋骨を折ったとか・自分では変らないつもりでいても七十五歳相応の歳の取り方なのでしょうか？

恐らく今回が最後になるであろう集まりと思いつつ、会ってお顔を



石井高代

*第十四回生(昭和三十七年卒業)

前回、平成二十三年九月同期会開催時に次回はソチオリンピックの年に開催すると決めた、深沢小学校（三十四年）中学校（三十七年）卒業の合同同期会が、平成二十六年十月二十六日、J・R大船駅前の日本大漁物語きじま大船店で開催され、二十四名の出席で行われました。

当日は恩師の小学校の丸山、小椋山先生の二名のうち小椋山先生は体調が悪く手紙での参加となりましたが、丸山先生は茨城県守谷市から参加をいただきました。

また、サンフランシスコから三海さん、大分県からの壺坂さんなど遠方からも参加されました。

会った瞬間から子ども時代にタイムスリップ、丸山先生から当時の作品等が披露される等お互いの昔話に大いに弾みま



別れを惜しむが、ごく孫の話と病気の話題でおおいに話が弾み、二次回を急遽セッティングし、夜遅くまで盛り上がり

しました。同期会は今後二年ごとにオリンピック（夏季、冬季）の年に開催することになっています。矢澤基一

中学時代の思い出と恩師との再会

第三十三回生（鎌倉市議会議員） 池田 実

中学一年と三年の担任は、数学の布川浩先生、中学二年は社会科の山岸幸二先生、そして体育は北村智生先生、音楽は川崎秩子先生でした。他にも国語、理科、技術家庭など多くの先生にお世話になりましたが、この四人の先生とは社会人になってから偶然の出会いがありました。

中学時代は、小学校の六年間、いやそれまで生きてきた時間よりもより濃厚な時間であったと思います。誰もがそう思う青春の悩み多き時代でした。今でいう中・ギャップでしょうか、大人の階段を登る様々な経験と苦しみ、混沌としている三年間でした。還暦を迎えるこの歳になっても、未だに鮮明に中学時代の出来事は覚えています。自我が強く芽生え、日々葛藤の時代でした。多くを語る方でも、人の上に立ち出しやばる方でもありませんでした。日々内なる心との葛藤の時代であったように思います。

数学の布川先生は、別名「棒人間」と呼ばれていました。鮮明に覚えているのは、会議室の掃除をサボってトランプをしている友人を見ていた私も同罪として職員室に呼ばれ、例の棒でお尻を十回叩かれました。あの痛さと理不尽さは今でも忘れません。その後布川先生とは、市役所の統計担当をしている頃、消費者物価調査の客体が見つからず苦しんでいる時に、先生のお宅を訪ね家計簿をつけていただいたことがあります。心から感謝です。中学三年

深沢歴史トピックス(三)

五頭龍伝説

第八回生 石井 和行

このシリーズ(二)昔／深沢に悪い龍がいた？について、概略説明しましたが、さらにここで詳しく説明します。

昔、深沢の森の中に、いつも黒い雲に閉ざされた、うす気味悪い大きな湖がありました。村人たちは、恐ろしいので誰も湖には近寄りませんでした。

この湖に、五つの頭を持った悪い龍が棲んでいて、それが山を崩したり、洪水を起こしたり田畑を荒らし、病気を流行らせ、火事を起こすなど大変悪さをしておりました。

武烈天皇の頃、津村の長者の家には十六人の子供がおりました。この十六人も皆食べられてしまいました。そのために、人々は泣く泣く住み慣れた土地を離れて、他の土地へと越して行きました。そこで、「子死越」から「腰越」になったといわれています。

西暦五五二年（欽明天皇の十三年）四月半ばの頃のことです。五頭龍は、いつものように里へ出てきました。

するとその時、南の海上にむくむくと暗雲がたちこめ、みるみるうちに伸びてきたかと思ってももなく、激しい雷鳴がとどろき渡り、波は大荒れに荒れ、天地は震え始めました。その上、一日中止む気配もありませんでしたので、人々はおそれおののきました。そのうち、突然雲の上から金色の光が輝きわたり、五頭龍にだんだんと近づいて行きます。

よくみると、それは美しい童子を両脇に従えた弁財天女です。やがて空から石が降り、海底

から砂や土が盛り上がり島ができ、弁財天女はこの島（江ノ島）に降り立ちました。

あまりの美しき、神々しさに五頭龍は心をひかれ結婚を申し込みました。弁財天女は「私はいつも世の中の人々の幸福だけを考えています。そして、そのために努力をしてまいりました。けれどもお前はどうか。人々を苦しめてばかりいるではありませんか。どうして、お前のような悪い者と結婚することができませんか。」と不快そうにおっしゃったのです。

五頭龍は、「天女様、悪うございました。私は、悪いことばかりしてきました。これからは、天女様の教えに従って、決して人々に悪いことはいたしません。今までのお詫びに、きつと人々を幸福にするよう努めます。」と約束しました。

天女は、それならばと五頭龍の申し出を受け入れてやりました。五頭龍は、こうして弁財天女と夫婦になりました。

これから後、本当に心を入れ替えた五頭龍は、人々を助けて村の人々に愛されるようになりました。その死後、亡きがらは、変じて山になったといわれています。深沢から龍ノ口に至る山がそれです。

津村の人々は、五頭龍の徳をたたえて龍の口に当たる地に社を造り祀りました。これが龍口神社だといわれています。

神社は、周辺の状況の変化に伴い、湘南モノレール「西鎌倉駅」近くの現在地に移転しました。毎年十月九日が祭礼ですが、六十年ごとの四月に江島神社と一緒にお祭りをします。